

## 白金高輪駅東部地区まちづくり構想（素案）について

### 1 策定の背景と目的

白金高輪駅周辺は地下鉄の開業後は、多様な用途が共存するまちとして発展しています。現在、品川駅と白金高輪駅が地下鉄で結ばれる「都心部・品川地下鉄構想」の検討が進められているとともに、白金高輪駅東部地区では新たなまちづくりの動きがみられます。

しかし、白金高輪駅東部地区については地区としてのまちづくりの具体的な目標や方向性が示されていません。こうしたことから、本地区のまちの課題を解決するとともに、地域特性を生かした計画的なまちづくりを誘導することを目的とした白金高輪駅東部地区まちづくり構想を策定します。

### 2 白金高輪駅東部地区まちづくり構想のポイント

#### (1) まちの背景《資料5-3 11~32ページ》

##### ○まちの特性・魅力

本地区は交通利便性が高く、活発な地域活動や良好な居住環境がまちの魅力となっています。また、古くから工場なども立地し、多様な用途が共存したまちが形成されてきました。

本構想では、まちの魅力である暮らしやすい環境を保全しつつ、駅周辺では職住近接の複合市街地を形成する方向性を示しています。

##### ○まちの課題

本地区には老朽化した建物や道幅の狭い道路が多い上、オープンスペースも不足していることから防災性に課題を抱えています。また、本地区方面への駅の出入り口が1か所しかなく、その周辺の歩道幅員が狭いなど歩行環境にも課題があります。

本構想では、事業者や関係者などと協力しながら、緑やオープンスペースの整備、防災性の向上などまちの課題を解決していく方針を示しています。

#### (2) まちの将来像《資料5-3 33~36ページ》

本地区の魅力である活発な地域活動や良好な居住環境を生かしつつ、まちの課題となっている防災性を向上させ、安全なまちづくりを進めるため「まちの将来像」として、「地域の個性を生かし、活発でにぎわいがあり、安全・安心で快適な都心生活を育むまち」を掲げます。

#### (3) まちづくりの方針・方策《資料5-3 37~60ページ》

将来像の実現に向け、まちづくりの方針・方策を区のまちづくり分野の最上位計画である「港区まちづくりマスタープラン」に沿って8つの分野別に示しています。

また、白金高輪駅周辺を「駅周辺エリア」として設定し、特に重点的に取り組むべき方針・方策を示しました。

### 3 今後のスケジュール（予定）

- 令和3年2月21日～令和3年3月22日  
パブリックコメントの実施（広報みなと2月21日号にパブリックコメントの実施を掲載）
- 令和3年3月2日、3日  
区民説明会
- 令和3年7月  
白金高輪駅東部地区まちづくり構想策定